

# 弥彦村社教だより

平成28年12月20日 NO. 4

弥彦村社会教育委員の会

## 《第2回弥彦村地域づくり交流会に参加して・・(弥彦)花井 讓温さん》

実は唐突に頼まれて、どの様な会なののかも理解せず参加したのが正直なところであった。昨年につき第2回とあり、弥彦村が変わろうとした年に発足している。地域づくりに取り組んでいる方、及び関心のある方を参加者に、地域の活性化やこれからの弥彦村をどうしていくかの意見交換をワークショップ形式でグループ協議後、各班まとめ発表した。

私の班は村会議員、中学PTA、氏子青年会、民生児童委員、役場職員の方等がおられ、それぞれの活動や弥彦村地域づくりへの思い拝聴した。各班の発表を含め、自分にはない発想や知らなかった活動、村に対する共通の要望があったりと、あまり面識のない多くの人の意見が聞け、感心させられた貴重な交流会体験だった。

こうしたランダムに集められた、地域づくりに関心のある人たちや取り組んでいる人たちで交流会を作り、グループ協議を持つことは、村民全体で考え、意見を出し合い、同意を得るための良いコミュニケーション場となると思う。垣根を越えて地域づくり交流会への多くの村民の参加、ひいては近隣市への交流へと発展していくことを期待します。

※ 前号で掲載できず、お詫びいたします。

## 《第1回若彦会に参加して・・(川崎)那須 裕美子さん》

本来、「地域づくりに関心のある若者」というのが参加条件でしたので、決して若者でもない私は、声をかけられなければ、参加していなかったと思います。多くの人は私と同じ気持ちなのではないでしょうか、参加者はあまり多くなく少し残念に思いました。ですが、普段の生活の中では、ママ友や職場の人等と限られた関係の人たちとしか会話をすることがないので、初めて会う方々や少し敷居が高く感じてしまう役場の方々と意見を交わすことができ、とても有意義な時間を過ごすことができたと思います。

私自身、小学校低学年の時にここ弥彦村に移住して、弥彦村で育ち、今は3人の息子たちが母校に在籍中であったり、母校を卒業していることを嬉しく感じています。そんな「弥彦」についての良さや逆に不便に感じていること、改善してほしいこと等を共感したり思いを共有できて良かったです。もっと多くの人に参加してほしいと感じた会となりました。ありがとうございました。



<グループ協議の様子>

## 《第1回若彦会に参加して・・(役場)山野上 良輔さん》

11月19日(土)に弥彦中学校で開催された第1回弥彦村若彦会に参加しました。今回のグループワークでは、弥彦村の良いこと、改善したいことについて話し合い、弥彦村

をよりよくするために何を実現すべきか、そのために若者は何ができるかについて、率直な意見交換を行いました。参加してみて、自分と同じことを思っている人もいれば、「こんな考えもあるのか」と気づかされる場面もありました。もちろん、一度の会合で何か具体的な成果が生まれるわけではありません。しかし、参加者それぞれが弥彦村のことを真剣に考えるきっかけになると感じました。

今回の参加者は20人程度でしたが、もっと多くの若者が参加することで多様な意見が生まれ、より有意義な会となることでしょう。次の機会があれば、私もまたぜひ参加したいと思います。

## 《第1回若彦会報告》

11月19日（土）に弥彦中学校を会場に実施した上記会は、村内の若手の皆さん18名の参加がありました。4グループに分かれて、「弥彦をこうしたい」をテーマに、弥彦の良いところ、改善したいことを出し合って協議しました。役場職員の参加が多く、地域の声を知りたいとの声に、和気藹々としたムードの中で、若手の発想による多くの考えが出され、熱心な協議が行われました。「参加して良かった」「これからも続けてほしい」との肯定的な意見をいただきました。



＜協議内容発表の様子＞

閉会後は、会場を移して懇親会が行われました。「弥彦のために～するぞ」と各自が意見を述べて乾杯して盛り上がりました。若手の地域づくりへの意識付けや交流の輪を広げるといった意味で、成果のあった懇親会となりました。以下、グループ協議のまとめと、アンケートまとめについてお示しします。（文責：堀）

### 1 グループ協議のまとめ・弥彦をこうしたい

#### 1班

- ① 観光面で、名物や食べ物の開拓により通年観光を目指す。
- ② 交通面で、道路や駐車場の整備、カラー舗装の歩道整備、自転車による来村者が多いので、自転車に関する道路整備を行う。
- ③ 観光と農業と学校の連携として、インターンシップによる農業体験で、後継者育成と指導者の活躍の場を確保する。また、まつりへの参加と菊づくりで、絆づくりと指導者の活躍の場を確保する。

#### 2班

- ① 観光面で、PR動画を作成して流す。交通の便や駐車場の問題の改善を図る。様々な観光資源をもっと有効に活用する。
- ② 施設面で、文化会館を活用できるようにする。他施設の老朽化対策に取り組む。
- ③ 人的面で、村外の人と交流する。（英語圏の外国との交流も含む）元気な高齢者が多いので、その活用を考える。村全体の統一感をつくるために繋がる取組をする。

- ④ 交通面で、冬の除雪をきれいに、早い時間に行く。夜道が暗い部分の改善を図る。

### 3班

- ① 気軽に若者が集まれる集いの場を設ける。  
② 生活面で、次の点を改善する。図書館が行きにくい場所にある。一人暮らしする安い物件がない。遅い時間に電車がない。夜道が暗い。  
③ 役場から、来庁者に笑顔で応対してほしい。冷たく感じることもある。  
④ 弥彦地区以外に飲食エリアをつくる。

### 4班

- ① コンパクトな村なので、情報が伝わりやすく、行事に積極的に関わっているが、派閥があり、思っていることが言えない点を何とかしたい。  
② 観光資源があるが十分生かさずして、観光客の滞在時間を長くする。危機感が足りないので、各団体の協力、話し合いの機会を多くもつ。  
③ 生活の不便さを少しでも改善する。(電車の数 必要な場所に信号・横断歩道 飲食店 若者が遊ぶ場所)  
④ 現代の井戸(若者が集う場をつくる)をつくる。

## 2 アンケートまとめ

### (1) 若彦会に参加しての感想

- ・ 色々な人と話ができ、交流できてよかった (5) ・ 役場の人が多かった (2)
- ・ 色々な意見が聞けてよかった (4) ・ 楽しい時間が過ごせてよかった (2)
- ・ これからも弥彦について積極的に話し合えたらよい
- ・ 役場の人と話ができよかった ・ もう少し一般参加者が多ければよい
- ・ 普段、村について考えるという意識付けができた
- ・ 行政の立場で参加し、役場内の他職と関わるよい機会となった
- ・ 役場職員として、村民の意見を聞く機会がもててよかった
- ・ 地元の一般の人と向き合って話ができるよい機会だった
- ・ 年齢が近い人と話す機会がなかったので新鮮だった
- ・ 違う職業の人と話し合い、1つのことを色々な視点で見られてよかった
- ・ 機会があれば、また参加したい ・ 自分の意見を言う機会がもててよかった
- ・ 参加者は一生懸命なんだと思った ・ 弥彦村の将来を考えるよい機会となった

### (2) 地域づくりに関する意見

- ・ 定期的集まって話し合うことができたならよい (4) ・ 知名度を上げる。
- ・ 回数を重ねていけたらよい (3) ・ 大会形式で開催すると集まるのでは
- ・ 誘い合って参加する ・ 自発的に集まることができないと変革できない
- ・ 協議会～懇親会の流れはよい ・ 氏子青年会、地域団体に声を掛ける
- ・ ある程度の回数が必要かと思う ・ 行政 vs 地域とならぬように配慮が必要だ
- ・ 様々な年代を集めようとする若者は遠慮する。今回のように若者だけの会を企画することで、多くの若者が何かの会に参画していくきっかけになると思う。
- ・ 子どもを巻き込む集まりがよい ・ 強制的にでも集めたらよい
- ・ 堅苦しい内容でなく、気軽に集まれることができればよい
- ・ 商工会、建築組合、農業、旅館組合、観光協会等に青年部があるので声掛けする
- ・ 各集落に若い人の集まりがあると思うので、各集落の育成会などに声を掛ける

## 《地域からの情報・・弥彦バスケットボールクラブ》

弥彦バスケットボールクラブでは、毎週土曜日の午後7時から9時半まで、村内の小学5年生以上から、中学生、高校生、一般を対象とした活動を、サン・ビレッジ弥彦で行っています。代表の大井源一郎さんをはじめ、永井さん、菅さん等の有志の方が指導に当たっています。

指導者の皆さんは「いつでもバスケットボールができる環境づくりと、バスケットボールの技術のみならず、あいさつ、礼儀、謙虚な心をもつことなど精神面の指導を行って、個々の能力を伸ばしたい。また、参加者の様々な相談にも対応して上げたい。」と熱く語ってくれました。興味のある皆さんは、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

私も、スポーツをできれば続けていきたいと思いますが、気力、体力など年を重ねるごとにやらない理由が増えていきます。弥彦バスケットボールクラブに接し、若い頃の自分を思い出し、何かを始めたいと改めて思いました。 (文責 本多)

## 《ラ・ラ・ネット・・・新潟県生涯学習情報提供システム》

ラ・ラ・ネットは、県民の主体的な学習活動を支援することを目的とし、インターネットを通じて広く県内の生涯学習に関する情報を提供するものです。新潟県立生涯学習推進センターが窓口となり、以下の情報を提供しています。興味のある方は、ぜひ、アクセスしてみてください。

<学習機会>・・県内各地で開催されている講座・イベントの情報を広く紹介します。

<いきいき県民カレッジ>・・県民だれでも受講できる市町村・大学等の登録講座情報を紹介します。

<団体・グループ>・・県内で活動する生涯学習や社会教育に関係団体を紹介します。

<指導者>・・生涯学習に関する講座や講習会、講演会等の指導者を紹介します。

<ボランティア>・・ボランティアに関する講座や講演会、関連団体を紹介します。

<おやこのひろば>・・親子で楽しめる講座や体験活動ができる施設などを紹介します。

<学習プログラム事例>・・過去に県内市町村の公民館・社会教育課・生涯学習課等で実施された現代的課題の講座プログラムと、県主催の事業を紹介します。

「社教だより」に関するご意見、ご要望がございましたら、下記担当までご連絡ください。お待ちしております。

委員長	堀 隆行 (弥彦中学校長)	副委員長	平井 茂人 (村山)
委員	本多 隆峰 (麓一区)	委員	柏原 路子 (麓二区)
委員	村越 隆典 (平野)	事務局	橘 芳延 (教育課)

※ ご意見のある方は、近くの委員、もしくは中学校、教育委員会事務局にお電話ください。(中学校 94-2101 事務局 94-4311)

